

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成24年12月13日(水)

■福祉サービス事業者情報

名 称	伊保庄園	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	園長 丸林稔夫	開設年月日	平成17年4月1日
設 置 者	社会福祉法人 山口県社会福祉事業団	定員(利用人数)	114名(うち短期14名) (114名)
所 在 地	〒742-1352 柳井市伊保庄1-2		
電 話 番 号	0820-27-0840	FAX番号	0820-27-0841
ホームページアドレス	http://jigyodan-yg.jp/ihonosyou		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

- ・当施設の第三者評価の受審は今回が3回目となり、評価内容結果を踏まえ、多くの事項について真摯に改善へ取り組まれており、法人と施設の姿勢は高く評価できます。
- ・施設長は、現場経験が豊富で職員の信頼も厚く管理者としてのリーダーシップを発揮され、職員が一丸となり利用者本位のサービス向上に向けての意識レベルの高さを感じます。
- ・事故の原因究明の中での時間帯に目を向け、事故発生と時間帯の因果関係から事故軽減の材料としていることは、問題解決に積極的に取り組む姿勢として高く評価できます。
- ・当施設の特長として、利用者の重度化のすすむ中で、訓練士を増員しリハビリを積極的に行い、居室においても残存能力維持向上を目指し、安心して楽しく過ごす介護を目指しておられることは特筆すべきことと思います。

◇改善を求められる点

- ・食事は、利用者のペースに合わせてゆっくり食べることができるよう喫食環境に配慮がされていますが、全介助の方については、介助時間の関係から食材の保温状態の確保についての工夫が望まれます。
- ・薬の管理・与薬・誤薬防止のマニュアルは整備されていますが、事故報告がありましたので、事故防止のため薬の管理等安全面の取組についての徹底と職員一人ひとりの注意喚起を望みます。

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

この度の受審結果について、改善を要する項目については、早急に見直しを行うとともに、a評価をいただいた項目についても、現状に満足することなく創意工夫を重ね、「その人らしさを大切に」の基本理念のもと、さらなるサービスの質の向上を目指します。

このような取組により、利用者や家族にとって、一層、安全で安心、信頼できる施設となるよう努めます。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	12	b	0	c	0	Na	0
<p>・法人と施設において理念や基本方針を示し、実現に向けた中・長期計画が策定されています。職員や利用者、家族に対する理念や基本方針の周知への取組が継続的に行われていることにより、職員の日常の業務への意識付けや福祉サービスの深化が促進されています。事業計画は、現場の職員の意見を集約し、部門別に検討した上で策定されており、家族会や利用者懇談会で説明されています。</p> <p>・施設長は各種会議等で職員の仕事内容を把握し、常に現状の把握や課題の検討を行い、全体事業の一体化を図り、質の向上と業務の効率化と改善に向けた取組を行う中で指導力を発揮しておられます。</p>								
II 組織の運営管理	a	19	b	1	c	2	Na	0
<p>・当施設の特長として、利用者の重度化のすすむ中で、法人として中・長期計画に人員体制に関する基本的な考え方を示し、訓練士を増員しリハビリを積極的に行っておられることは高く評価できます。</p> <p>・平成19年度より人事考課制度を導入し、人材の能力開発・育成と公正な職員処遇をめざす試みは高く評価できます。</p> <p>・法人・事業所単位での教育・研修計画は非常に充実した内容で行われ、成果も上がっていますが、さらに、職員一人ひとりについて評価・分析し、個別の研修計画を立てられると、より高い質の向上が図られると思われれます。</p>								
III 適切な福祉サービスの実施	a	22	b	0	c	0	Na	0
<p>・自己評価を行う体制が整備され、評価結果を分析・検討し、その結果や課題を事業計画に反映するサービスの質の向上に向けた取組は高く評価できます。</p> <p>・利用者の日々の状況等は朝礼を始め各棟・各部署で横断的に各職員に伝達され、組織的な情報の共有化が行われています。</p> <p>・施設サービス計画は、サービス場面ごとのニーズや課題が詳細に記載され、栄養ケア計画や個別機能訓練計画などとも併せて作成され、利用者一人ひとりに見合った適切なものとなっています。</p> <p>・各種サービスマニュアルについては適切に整備され、定期的に行われる職員会議や研修会、委員会等で職員に周知されるとともに随時見直しが行われています。</p>								
IV 良質な個別サービスの実施	a	23	b	3	c	1	Na	1
<p>・管理栄養士による個別の嗜好調査や、利用者懇談会において把握した嗜好をもとに給食会議で内容を検討し、献立に反映させています。</p> <p>・月1回の利用者懇談会や年2回の家族会の開催、利用者満足度調査、アンケートの実施など様々な形で利用者のニーズを引き出す工夫がなされ、利用者の意向が尊重された個別の支援が行われています。</p> <p>・誕生会に家族を招待したり、職員によるドライブ外出、利用者の指導をお願いしての若い職員との園芸活動など、利用者の余暇活動や生きがい作りの支援に工夫が見られます。</p> <p>・誤薬の事故報告がありましたので、薬の管理等安全面の取組についての徹底と職員ひとり一人の注意喚起を望みます。</p>								